

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1159	(H.24)No.	1159
-----------	------	-----------	------

事務事業名		学校支援地域本部事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施 策	1	生涯学習
	小 施 策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	500505
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	社会教育総務費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 社会教育総務費	学校支援地域本部事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
事業内容	<p>事業内容…授業における学習支援や放課後の学習指導等の学力向上に向けた支援を地域が行うことにより、教員が子どもと向き合える時間を確保し、子どもたちの学力の定着・向上を図るため、各地域において学校の求めに応じて必要な支援を地域のボランティアが行う体制を構築する。</p> <p>事業主体…名張市「学校支援本部」実行委員会</p>

めざす効果(事業目的)
<p>地域住民が学校を支援する体制を構築することにより、子どもたちの学力の定着・向上を図るとともに、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整備し、地域の活性化に資する。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実	・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実	・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実
直接事業費	2,098千円	3,387千円	3,666千円	3,666千円	3,666千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	1,398	2,258	0	0	0
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 700	1,129	3,666	3,666	3,666
人工数					
職員	0.40人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等	0.10人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
概算人件費	(0千円) 3,090千円	2,445千円	2,445千円	2,445千円	2,445千円
+ 総事業費	(0千円) 5,188千円	5,832千円	6,111千円	6,111千円	6,111千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	学校支援地域本部による支援校数	校	-	-	-	15
	実績			1	1	10	12
活動指標	目標	学校支援ボランティア登録者数(取組校分)	人	-	-	-	-
	実績			10	39	294	371
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度学校支援地域本部事業に参加した学校数は12校となり、学校現場におけるボランティア支援が広がりをみせている。	22校すべての小・中学校において、地域ボランティアが支援する活動は行われており、平成24年度以降、計画的に、それらすべての小・中学校において学校支援事業を展開できるようにしていきたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
現在、国・県・市1/3の補助事業となっているが、平成25年以降の事業についての見通しは立っていない。学校現場においては、地域からの支援を求めるニーズはますます高まっている事から、今後事業を展開する上での財源確保が必要となる。	名張市青少年育成市民会議において、青少年育成推進員が中心となり、学校からの支援要望を聞く場を持つなど学校支援に対する意識が高まってきている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	事業における事務処理の負担が大きく、事業化に踏み切れない学校があるため、事務処理を含めた学校支援を検討していく必要がある。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	学校への支援を、地域活動の中にさらに取り入れる事や、家庭教育の向上を図る事業との連携を行う。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	青蓮寺・百合が丘地域の地域ビジョンにおいて、学校支援が実施計画に記載されています。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	すべての学校において、地域のボランティアの人に学校支援をいただいています。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	学校の行事や、授業等を地域の人が助け、地域の行事等を子どもたちが手伝う等、地域と学校がますます交流できる取組を推進していきます。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項